

令和 7 年度外国人留学生履修プログラム 2025 International Students' Study Program

目 的

上越教育大学外国人留学生が日本の教育を理解し深めるとともに日本語能力の向上を目的としています。

履修の手引き

○外国人留学生履修プログラム

(1) このプログラムは、外国人留学生（以下、留学生という）の特別聴講学生が対象です。留学生の特別聴講学生は、必修科目を受講しなければなりません。

ただし、留学生の大学院生・研究生・特別研究学生も、希望する場合は受講できます。（研究生・特別研究学生は、自身の指導教員を通じ授業担当教員に聴講の許可を得なければなりません。）

(2) 研究生で単位取得を希望する場合は、併せて科目等履修生として入学しなければなりません。

○履修上の注意事項

(1) 「国際交流セミナー」は、初めて上越教育大学に入学した留学生を対象とする科目であり、特に日本での滞在期間がまだ短い留学生（大学院生も含む）は、受講してください。

(2) 日本語補講については、授業担当者が本学の正規授業に準じて試験及び成績評価を行います。よって、正規学生と同様の内容で、上越教育大学日本語補講成績証明書を発行します。ただし、単位を取得することはできません。

(3) 授業科目一覧内の授業科目名欄に記載されている「※1、※2」は日本語補講科目であることを、「【必】」は必修科目であることを示しています。なお、※1は上級、※2は初級であり、原則として※1の上級を履修いただき、※2の初級は日本語能力に応じて必要な場合のみ履修いただきます。

○授業時間

授業時間は、原則として月曜日から金曜日までの各 5 時限で実施します。授業の開始及び終了時刻は、次のとおりです。

時 限	授業開始・終了時刻
第 1 時限	8 時 4 0 分 ～ 1 0 時 1 0 分
第 2 時限	1 0 時 2 0 分 ～ 1 1 時 5 0 分
第 3 時限	1 3 時 0 0 分 ～ 1 4 時 3 0 分
第 4 時限	1 4 時 4 0 分 ～ 1 6 時 1 0 分
第 5 時限	1 6 時 2 0 分 ～ 1 7 時 5 0 分

○ICカードリーダーによる出席確認

教室に設置された IC カードリーダー、またはモバイル型 IC カードリーダーに学生証をかざすことで出席を確認する授業があります。IC カードリーダーによる出席確認を行う授業については、授業担当教員から連絡します。

○試験、成績評価

(1) 定期試験

受講を許可された授業科目については、学期末又は学年末等に試験を行います。

出席時数が単位取得に必要な授業時数の 3 分の 2 に達しない者は、原則として受験資格を失います。

具体的な試験の方法は、授業担当教員が定める方法によります。

(2)成績評価

成績評価は、授業担当教員が定期試験の結果及び受講状況等を総合して行います。
成績評価の基準は、次のとおりです。

評 価	評 価 基 準	摘 要
S	100点 ～ 90点	合 格
A	89点 ～ 80点	合 格
B	79点 ～ 70点	合 格
C	69点 ～ 60点	合 格
D	59点 以下	不合格とし、単位を与えない

授業科目一覧

○授業概要は、シラバスを参照してください。

<https://www.juen.ac.jp/070graduate/010syllabus.html>

○単位欄に示す記号は、次のとおりです。また、記号のあとの数字は単位数です。

L：講義 S：演習 P：実験・実習・実技

前期（4月～9月）

授業科目名	単位(前・後) 曜日時限	授業担当者	受講対象者
日本語文献講読A ※1、【必】	(前期)・月・1	太田・保坂	特別聴講学生・ 特別研究学生・ 研究生
日本語レポート作成A ※1、【必】	(前期)・月・2	太田・保坂	
コミュニケーション英語C I	P 1 (前期)・月・2	エルダトン	
教育課程論(カリキュラムマネジメントを含む。)	L 2 (前期)・月・4	野澤	
学校・教師の歴史と文化	L 2 (前期)・月・4	安藤	
コンピュータ・プログラミング入門	S 2 (前期)・火・1	高野	
日本語研究発表A ※1、【必】	(前期)・火・1	原田	
コミュニケーション英語A I	P 1 (前期)・火・2	ドカティ	
中国語・中国事情	S 2 (前期)・火・4	野澤	
基礎日本語(会話) A ※2、【必】	(前期)・金・1	太田	
基礎日本語(読解作文) A ※2、【必】	(前期)・金・2	三好	
特別活動論	L 1 (前期)・木・2	高橋知	
国文学演習B	S 2 (前期)・木・4	小埜	
ユーラシア史認識論	L 2 (前期)・木・4	下里	
キャリア教育基礎演習	S 2 (前期)・木・4	山田智	
工芸表現(陶芸)	S 2 (前期)・木・4	兪	
木材手工具加工法	S 2 (前期)・木・5	東原	
美術科指導法(基礎論)	L 2 (前期)・金・2	五十嵐史	
図画工作	S 2 (前期)・金・3(前半)	安部 他	
食と栄養	S 2 (前期)・集中	野口	
身体表現の基礎	S 2 (前期)・集中	木山	
日本画表現	S 2 (前期・後期)・集中	山崎	

授業科目名	単位（前・後）曜日時限	授業担当者	受講対象者
日本語・日本文化研究セミナーA【必】	S 2（前期）・不定期	受入教員	特別聴講学生
国際教育研究の実践と課題	S 2（前期）・集中	藤谷	大学院生・研究生・特別研究学生 ※特別聴講学生も聴講可能です。 ※大学院生以外、単位の取得はできません。

後期（10月～3月）

授業科目名	単位（前・後）曜日時限	授業担当者	受講対象者
キャリア教育論（前半または後半） 【注】開始時期は授業担当者に確認。	L 1（後期）・月・1	山田智	特別聴講学生・特別研究学生・研究生
日本語文献講読B ※1、【必】	（後期）・月・1	太田	
日本語レポート作成B ※1、【必】	（後期）・月・2	太田	
子どもの教育・保育概論	L 2（後期）・月・2	杉浦	
日本史研究A	L 2（後期）・月・3	浅倉	
木材機械加工法	S 2（後期）・月・4	東原	
書の表現と文化	L1S1（後期）・月・4	押木	
経済学概説	L 2（後期）・月・4	吉田	
日本語研究発表B ※1、【必】	（後期）・火・1	原田	
法律学概説	L 2（後期）・火・2	小島	
体操	P 1（後期）・火・2	長谷川晃	
総合・生活	L 2（後期）・火・4	渡辺、上原	
国文学講読B	L 2（後期）・火・4	小埜	
現代社会と学校	L 2（後期）・火・4	辻村	
法律学文献講読	L 2（後期）・火・5	小島	
日本国憲法	L 2（後期）・水・1	小島	
器械運動	P 1（後期）・水・2	周東	
彫刻表現Ⅰ	S 2（後期）・木・2	松尾	
英語コミュニケーション演習（会話の原理）	S 2（後期）・木・2	ブラウン	
世界史研究入門	L 2（後期）・木・3	下里	
社会認識手法論	L 2（後期）・木・3	吉田、小島	
デザインワークⅠ	S 2（後期）・木・3	安部	
教育社会学	L 2（後期）・木・3	堀	
彫刻表現Ⅱ	P 2（後期）・木・3、4	松尾	
国際交流セミナー【必】	S 2（後期）・木・4	藤谷	
フランス教育文化事情	S 2（後期）・木・5	大前	
中等保健体育科指導法（教材論）	L 2（後期）・金・1	土田	

授業科目名	単位（前・後）曜日時限	授業担当者	受講対象者
基礎日本語（会話）B ※2、【必】	（後期）・金・1	三好	特別聴講学生・ 特別研究学生・ 研究生
基礎日本語（読解作文）B ※2、【必】	（後期）・金・2	三好	
日本語・日本文化研究セミナーB【必】	S2（後期）・不定期	受入教員	特別聴講学生

※1：日本語補講。受講対象者は、日本語能力試験N2以上、J.T.E.S.T（A-Cレベル）C級以上
日本留学試験（日本語）270点以上のいずれかを持っている者とする。

※2：日本語補講。受講対象者は日本語初級者とする。

【必】：必修科目。

○日本語・日本文化研究セミナーの授業概要

日本語・日本文化研究セミナーA	修了レポートの作成 指導教員のもとで各自日本に関する 研究課題を立て、修了レポートを作 成、発表を行う。	前期	不定期
日本語・日本文化研究セミナーB		後期	

○日本語補講の授業概要

授業科目名	授業概要	学期	曜日	時限
日本語文献講読A	文献のまとめ方 資料の収集と整理の方法を行う。	前期	月	1
日本語文献講読B		後期	月	1
日本語レポート作成A	レポート作成の方法 大学の授業のレポート課題や修了レポ ートの作成のための基礎を行う。	前期	月	2
日本語レポート作成B		後期	月	2
日本語研究発表A	プレゼンテーションの方法 大学の授業等で必要なスピーチや発表 のための基礎を行う。	前期	火	1
日本語研究発表B		後期	火	1
基礎日本語（会話）A	基本的な日本語による「話す」力と「聞 く」力を高める。	前期	金	1
基礎日本語（会話）B		後期	金	1
基礎日本語（読解）A	基本的な日本語の文章を「読む」力をつ ける。	前期	金	2
基礎日本語（読解）B		後期	金	2
基礎日本語（作文）A	基本的な日本語の文章を「書く」力をつ ける。	前期	金	2
基礎日本語（作文）B		後期	金	2